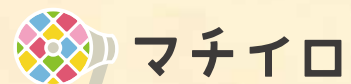




「キリリパーク」でバスケットボールを楽しむ

令和4年12月定例会終わる

- ▶ 議会報告・懇談会を開催しました …… 2
- ▶ 高校生との意見交換会 …… 4
- ▶ こんなことが決まりました …… 5
- ▶ 市政を問う（一般質問） …… 8



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android



懇談会」を開催しました。

こんな意見がありました

今年度の議会報告・懇談会には、延べ315名の参加があり、多くの意見提言やアンケートでの記入をいただきました。その一部をご紹介します。

- 芸備線の今後の運用については、鉄道とバスのそれぞれのメリットを考え、地域交通のあり方を考えるべきではないか。
- 12の自治連が集落支援制度を導入し活動している。集落支援制度をもっと広めて、活躍の場を設けてほしい。
- 自治連合会運営は行動力豊かな若い人に担っていただき、発想を豊かにしないと地域は発展しない。
- 地元のイベントに若い世代が参加してもらえない。
- 小学校の統廃合、今後の学校を考



河内会場

令和2年度と3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされましたが、住民自治組織の皆様にご協力いただき、今年度は11月1日から29日まで、市内19会場で開催でき、今年度

の協議経過と結果を報告し、第2部は「ワークショップ形式」による意見交換を行い、議会運営や議員活動、市政全般に対する多くのご意見やご提言をいただきました。また、子育て世代にも安心して参加いただけるよう託児室を設け、ご利用いただきました。市民の皆さま、ありがとうございました。

- えるのに、複式学級が始まってからは遅いと思う。
- 自然と農地を守るために、耕作放棄地の対策と鳥獣害対策を行ってほしい。
- 自転車通学しているが、道路側溝に草が繁茂して通行が難しく、安心・安全に通える通学路ではない。通学路に目を向けた対策を望む。
- 農業の新規就農者には助成制度があるが、既存の農業者には助成制度が少ない。同じように助成制度を設けないと農業は衰退する。
- 高谷山のトイレと駐車場整備が必要
- 議会に対して意見（議会活動・議員活動・政務活動費等）を言うところをはっきりしていただきたい。
- 議会だよりの字が小さい。
- 議員の皆さんに、若い人の声を聞いてもらう場を持ってもらいたい。



八次会場



作木会場

成果や課題、今後の改善など

開催状況やご意見・ご提言・アンケート結果等を踏まえ、広報広聴常任委員会で今後の改善等について協議しました。

来年度の開催に向けての改善策等について、今後、協議を重ねてまいります。

1 成果について

- 市民の意見を広く聞くことができ、一般質問に取り入れるなど議員活動に活用できている。



三良坂会場

2 運営上の課題について

- アンケートでも「引き続き開催してほしい」との意見が多いことも励みになる。
- 議会での取組を報告・共有し、コミュニケーションが取れ、貴重な時間だった。
- ワークショップでは、活発な意見が出された。
- 参加者は前回より増えたが、年代や男女などの参加層を広げる必要がある。
- 「議会報告・懇談会」というネーミングが堅苦しい。
- ワークショップのテーマが参加者



三和会場

- に浸透していなかった。
- 発言を強制してはいけませんが、発言の機会は保障しなければならぬ。
- 議員自身がファシリテーターについて学ぶべきだと感じた。

- わが町の地域資源をどう生かすかという統一テーマが、全ての地域にあてはまるわけではない。統一テーマを設定するのであれば、事前に住民自治組織に説明し、理解しておいてもらう必要がある。

※ファシリテーター…会議や議論の際に、グループがより協力し、共通の目的を理解し、目的達成のための計画立案を支援する人のこと。

開催日	会場名	参加者数
11月 1日	川地コミュニティセンター	17
11月 2日	八次コミュニティセンター	15
11月 7日	酒屋コミュニティセンター	7
	川西コミュニティセンター	10
11月 8日	粟屋コミュニティセンター	8
	十日市コミュニティセンター	9
	和田コミュニティセンター	14
11月 9日	文化センターさくぎ	19
11月11日	君田生涯学習センター	11
	三良坂コミュニティセンター	27
11月14日	甲奴健康づくりセンターゆげんき	26
11月15日	河内コミュニティセンター	21
	三次ふれあい会館	18
	青河コミュニティセンター	13
11月16日	みわ文化センター	27
11月24日	布野生涯学習センター	22
	よっしゃ吉舎	11
11月28日	田幸コミュニティセンター	15
11月29日	神杉コミュニティセンター	25
合計		315

◆ 出張型意見交換会 随時受け付け中 ◆

地域サロン、趣味のサークル、女性会や老人クラブ、また子育てサークルなど、各団体のご希望に沿った方法で、感染対策を講じながら、個別に対応させていただきます。

希望される団体は議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110
Eメールアドレス
gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

高校生との 意見交換会

日彰館高等学校 11/10 木



議員の感想を聞きました

- 多文化共生の取組、観光振興について意見交換を行った。三次市においてその考えを生かしてほしい。
- 少人数グループでの意見交換は良かった。学生の積極的な意見に大変嬉しく感じた。

昨年度に引き続き、11月に高校生との意見交換会を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響もある中、先生方、生徒のみなさんには快く対応いただきました。ありがとうございました。

高校生との意見交換では新しい発見が多く、非常に参考になります。生徒のみなさんには、引き続いて議会や政治に関心を持っていただき、我々は高校生から出た意見を参考にし、少しでも実現できるよう今後の議員活動に活かしていきたいと思ひます。

3年生のみなさんと意見交換を行いました。少人数のグループにわかれ政治から卒業後の進路まで幅広いテーマで、ざっくばらんに話ができ、とても有意義な時間でした。

生徒の感想

≫ 議員の話はどうでしたか

生徒：「こうしたい」と思っても簡単にできることではないし、その後のことも考えないとけないということがわかりました。

≫ これから議会や議員に期待することはありますか

生徒：女性議員の方が増え、女性の目線での子育て支援や労働環境の改善などについて取り組んでいただきたいです。

≫ 全体の感想を教えてください

生徒：議員さんは少し堅いイメージでしたが、今日でそのイメージはなくなり、楽しく意見交換することができて良かったです。



三次高等学校 11/28 月



議員の感想を聞きました

- 芸備線・福塩線を利用されている生徒、利用されていない生徒、それぞれの目線でのプランが良かった。
- 作成されている動画やパンフレットの出来が素晴らしく、生徒の考えがよく伝わってきた。

2年生のみなさんが現在作成されている「芸備線・福塩線利用促進プラン」について報告してもらい、それを基に広報広聴常任委員会の委員と意見交換を行いました。

生徒の感想

≫ 議員の話はどうでしたか

生徒：自分たちの拙い提案にも親身に耳を傾けてくださり、今の自分たちにできそうな活動をアドバイスしてもらえました。

≫ これから議会や議員に期待することはありますか

生徒：私たち高校生の考えを少しでも市の活動に取り入れてほしいです。また、機会があればもう一度話し合いをしたいです。

≫ 全体の感想を教えてください

生徒：自分では気付かなかった問題点が話し合いをするうちに浮かび上がってきたので、とても参考になりました。



こんなことが決まりました

令和4年 第3回臨時会

第3回臨時会を10月27日(木)に開催し、次のことが決まりました。

報告 専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)

令和4年度 一般会計予算の補正(第7号)

補正額 3億7,825万6千円追加

総額 406億3,564万7千円

■使い道

- ◆住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 3億3,154万6千円
- ◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 4,671万円
 - ・住民税均等割のみ課税世帯等臨時特別給付事業
 - ・保育施設等原油価格高騰対策補助事業

(◆は新型コロナウイルス感染症対応分)

補正予算の概要はこちら →
10月補正予算をご覧ください。



議案の内容はこちら →



令和4年12月定例会

12月定例会を12月2日(金)から12月16日(金)まで開催し、議案17件及び意見書2件を原案のとおり可決し、陳情1件を採択しました。

議案の内容はこちら



損害賠償の額を定めることについて

全員一致

財産の処分について

全員一致

工事請負契約の締結について

全員一致

専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)

その他の議案・報告

三次市放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

三次市の公園・公共広場設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

三次市自転車の安全利用に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

三次市行政組織条例及び三次市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

三次市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

全員一致

個人情報保護に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

全員一致

三次市個人情報の保護に関する法律施行条例

PICK UP!
賛成多数

可決された条例

陳情

新三次中央病院への「脳神経内科新設」を求めることについて

全員一致で採択

意見書

国の責任による物価高騰に対する支援を求める意見書

賛成多数で可決

地方ローカル線を守るために鉄道事業法の改正を求める意見書

賛成多数で可決

意見書等は



水道事業を共同で経営することを目的に設立した企業団の議会議員を選挙しました

広島県水道広域連合企業団議会議員

弓掛 元

当選

PICK UP!

三次市個人情報の保護に関する法律施行条例

個人情報保護に関する法律の改正により、これまで別々に運用されてきた個人情報の取扱いが、同一の法の規律によって取り扱われるようになるため、この法律の施行に必要とする手数料や審査会の設置等について規定するもの。

■ 12月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの)

○…賛成 ×…反対

区 分	会 派	ともえ		清友会			明日への風			真正会			会派 未来		公明党		日本共産党								
		小田	新家	弓掛	藤井	月橋	穴戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	黒木	中原	伊藤
議案第99号 三次市個人情報保護に関する法律施行条例(案)	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
議案第102号 三次市行政組織条例及び三次市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例(案)	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×
発議第8号 国の責任による物価高騰に対する支援を求める意見書(案)	採択 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
発議第9号 地方ローカル線を守るために鉄道事業法の改正を求める意見書(案)	採択 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

討 論

議案第99号「三次市個人情報の保護に関する法律施行条例(案)」

反対 伊藤議員

今回の条例(案)は、市民の個人情報保護を本当に保護できるのかどうか問われる大問題であり、個人情報保護審議会などで検討するとともに、広く市民の意見を求めるなど、慎重な取組が必要である。個人情報等を外部に流出させ、目的外利用させることができるようにする条例(案)に賛成することはできない。

賛成 横光議員

本条例(案)は、令和5年4月1日から地方公共団体においても個人情報保護に関する法律が適用されることに伴い、三次市個人情報保護条例の廃止と、旧条例の廃止に伴う経過措置を定めるものである。本条例(案)を認めないと、市が所有する個人情報保護することが難しくなる。本市に求められた開示請求に対し、市としての業務に支障をきたすと考える。

議案第102号「三次市行政組織条例及び三次市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例(案)」

反対 竹原議員

水道事業法では、水を供給する事

業は市町村が経営することが原則である。

それを放棄し、一つの企業団にするということは、地方公共団体が市民の福祉、幸福を追求することを放棄することになり、非常に禍根を残すことではないかと思う。広域化をしても、安心安全な水が提供できるとは思っていない。

それらも含めて、今の状況では、組織替えということは、大きな問題がある。

賛成 藤井議員

三次市議会は、本年9月定例会において「議案第92号広島県水道広域連合企業団の設立について」が提出され、9月28日に議決している。それに伴う本市の組織機構の変更は必然的なものである。

発議第8号「国の責任による物価高騰に対する支援を求める意見書(案)」

反対 黒木議員

物価高騰については、これまでも医療機関等について、地方公共団体の判断により、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した取組がなされている。また、食療養費の財源は診療報酬からきており、食料費の高騰に対しても、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響及びコロナ禍による物価高騰によるもので、食療養費とは別に

発議第9号「地方ローカル線を守るために鉄道事業法の改正を求める意見書(案)」

反対 増田議員

地方ローカル線においては、人口減や社会の進展により、極端に利用が少なくなっており、ただ単に鉄道事業者に運行を任せているだけでは、路線の維持はできない状況に追い込まれている。路線廃止を「許可制」に戻すことを国に求めるだけでは、問題の先送りではない。地域公共交通をどのように確保していくか。新たな支援制度や枠組みの整備、協力体制の構築、必要な予算の確保が、より三次市の公益に繋がっていくと考える。

賛成 新田議員

私たちは先に、芸備線沿線議員連絡協議会を立ち上げた。この協議会の目的はJR芸備線全線の存続である。多くの皆さんがこの問題に関わりながら、地方公共交通のあり方も含め、芸備線の存続を望んでおられることは間違いない。市を挙げ、この市民の声に応えていくならば、この「許可制」だけが唯一の方法だとは思わない。あらゆる手段、考えに取り組んでいくべきであると考ええる。

して考えるべきだ。

予算審議

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案7件について、12月16日に委員会を開催しました。

【付託議案】

議案第107号「令和4年度三次市一般会計補正予算(案)」ほか6議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり認定

令和4年度 一般会計予算の補正(第8号)

補正額 10億2,241万4千円追加 総額 416億5,806万1千円

■主な使い道

・学校給食調理場整備事業	1億8,092万7千円
・県営事業負担金	1億2,048万2千円
・小規模農業基盤整備事業	1億円
・道路橋梁維持事業	9,300万円
・障害者自立支援給付事業	8,005万3千円
・指定管理施設電気料金負担軽減補助金	8,000万円
・保育所運営事業	2,681万6千円
・担い手育成・強化事業補助金	1,828万2千円
・生活保護扶助経費	1,613万1千円
・福祉保健センター駐車場整備事業	810万1千円
・職員人件費(特別職・一般職)	▲3,000万4千円ほか

《継続費》

変更 1件	学校給食調理場整備事業
《繰越明許費》	
追加 19件	公共施設改修・解体事業ほか
変更 1件	市道新設改良事業
《債務負担行為》	
追加 1件	三次小学校整備事業
変更 3件	一般廃棄物家庭ごみ収集運搬委託業務ほか
《地方債》	
変更 15件	公共施設等整備事業ほか

(▲印は減額)

【国民健康保険特別会計】	1,101万8千円
【診療所特別会計】	67万3千円

【下水道事業会計】

業務の予定量	132万2千円
収益的収入	2,560万2千円
収益的支出	2,560万2千円
資本的収入	0円
資本的支出	132万2千円

【水道事業会計】

収益的収入	1,059万4千円
収益的支出	4,756万4千円

令和4年度 一般会計予算の補正(第9号)

補正額 1億7,892万8千円追加 総額 418億3,698万9千円

- ◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 1億7,892万8千円
- ・電気料金高騰対策事業者支援事業補助金
- ・プレミアム付商品券(三次藩札)発行事業補助金

追加議案はこちら



《繰越明許費》追加 1件 プレミアム付商品券(三次藩札)発行事業補助金

(◆は新型コロナウイルス感染症対応分)

補正予算の概要はこちら
12月補正予算をご覧ください



委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、12月9日と13日に各委員会を開催しました。

総務常任委員会

12月9日開催

【付託議案等】

議案第99号 「三次市個人情報の保護に関する法律施行条例(案)」ほか5議案

【審査結果】

議案第102号 「三次市行政組織条例及び三次市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例(案)」賛成多数をもって原案のとおり可決

議案第102号以外、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第99号は、個人情報保護に万全を期すため、個人情報保護に関する法律の目的に沿った職員研修の充実や、個人情報管理の安全管理のための積極的な措置を講じること。

議案第106号「工事請負契約の締結については、外部委託している設計の成果物においても、市が積極的に関わりを持つように努めること。

教育民生常任委員会

12月12日開催

【付託議案等】

議案第104号 「三次市の公園・公共広場設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」ほか1議案

陳情第4号 「新三次中央病院への「脳神経内科新設」を求めることについて」

【審査結果】

議案、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

陳情、全員一致をもって採択

【所管事務調査】

・「地域包括支援センターみよし」及び「三次市社会福祉協議会」の体制整備について

【陳情に対する意見】

陳情第4号は、市立三次中央病院の建替えに当たり、脳神経内科の開設は、患者の負担軽減、病気の早期発見、早期治療のために重要な取組の一つであり、医師確保の取組が進展することを期待するとともに、市立三次中央病院の県北における中核病院としての更なる機能向上を望む。

産業建設常任委員会

12月13日開催

【付託議案】

議案第113号 「財産の処分について」ほか1議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【所管事務調査】

・三次市空き家等対策計画について
・(仮称)みよしアグリパーク整備基本構想について

【議案に対する意見】

議案第113号は、新たな企業立地に伴い、交通量の増加が予測されるため、安全面への十分な対策を望む。

議案第114号「損害賠償の額を定めることについて」は、今一度、全庁的に事故再発防止に向けた、積極的な取組を実施されたい。

各委員長報告の全文はこちら



市政を問う

令和4年12月定例会 一般質問



- 1 竹原 孝剛 (会派 未来)
- 2 山田真一郎 (清友会)
- 3 重信 好範 (清友会)
- 4 保実 治 (清友会)
- 5 黒木 靖治 (公明党)
- 6 伊藤 芳則 (日本共産党)
- 7 藤井憲一郎 (ともえ)
- 8 小田 伸次 (ともえ)
- 9 増田 誠宏 (明日への風)
- 10 藤岡 一弘 (明日への風)
- 11 鈴木深由希 (真正会)
- 12 横光 春市 (真正会)
- 13 齊木 亨 (真正会)
- 14 杉原 利明 (真正会)

12月定例会では、14人が市政をただしました。質問と答弁の一部を紹介します。また、ホームページでは**一般質問の日程や質問内容の一覧も公開しています**。議会終了後には会議録や本会議の録画映像もご覧いただけます。

詳細はこちらにアクセス

三次市議会

検索

一般質問一覧



答弁1

必要に応じて情報発信を行って
いく

今回の訓練は、島根県が主催で計画を作成し実行された。実際に受入れを

山田危機管理監



酒屋体育館に待機中の訓練バス

災害訓練は11月7日と11月12日に行われたが、なぜ市民への情報提供はなかったのか。市民の安心にはならないのでは。また受入れ体制が職員9名だけでは充分ではないのではないか。雲南市加茂地区の5,708人の避難先の確保等、市民への協力体制の整備についてどうか。

質問1

島根原子力発電所の避難訓練の成果と課題は



たけはら たかよし
竹原 孝剛
会派 未来

動画



公共工事の評価については、事業者の格付に用いる主観数値に反映しており、主観数値をホームページで公表している。1000万円以上の工事の平均点は、令和3年度で、78.2点である。

工事成績のほか、地域貢献や安全対策も数値化し、建設事業者の格付を行って、入札に参加できる範囲が決まる仕組みとしている。

答弁2

工事成績の扱いは、他市の事例も踏まえ、今後検討していく

細美総務部長

公共工事成績評定の点数結果公開をしていないが、なぜか(2005年には適正化法が制定されている)。平均点数はどうか。重点を施工体制・状況・出来形・出来映え等でなく、社会性・地域貢献・地域住民の説明・法令遵守等を重点化し、点検を日常的に行うべきではないか。

質問2

公共工事成績評価点数の公開は

行う場合には、必要に応じて情報発信を行っていく必要がある。

受入れに必要な避難所は確保している。避難が長期化する場合は、広島県・島根県職員、雲南市職員、電力事業者の応援を得ることとなっている。

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。



親水公園の被害状況



質問1 三次市十日市親水公園グラウンド
ゴルフ場の被害被害への対応は

三次市十日市親水公園は、国交省より三次市が管理を受託されて、業者へ業務を委託されている。
管理の責任者として三次市はどう対応するのか。

答弁1 引き続き有効な対策を調査・検討する

中原地域振興部長

国土交通省三次河川国道事務所と協議を行ったが、檻や柵等を設置することや、河川敷の草や木を伐採することなどは困難であるといった見解を示されており、抜本的な対策の見通しは立っていない。引き続き有効な対策を調査・検討するとともに、利用者への支障が最小限となるよう取り組んでいきたい。

質問2 三次市東光保育所の建て替えは、現在位置以外との比較検討はしたのか

河川の近くで窮屈な現在位置よりも、保護者が利用しやすい、もっと総合的に広く安全な場所が他にもあると考える。どんなメリットがあつて、今の場所での建設を進めているのか。

答弁2 総合的に判断したものである

松長子育て支援部長

現在地での建て替えを基本としたのは、送迎を行う保護者への影響、また公立19保育所のうち、14の保育所が洪水浸水想定区域または土砂災害警戒区域に位置しており、全ての施設について代替地を求めることが困難であることや、施設整備に要する事業費から総合的に判断したものである。



質問1 マイナンバーカード普及率向上に向けての周知は

総務省は全国のマイナンバーカード取得率が、昨年10月18日時点で50.1%と発表した。

しかし、市民からカード取得のメリット、デメリット等が不明との声を聞く。今一度工夫した市民への周知徹底について伺う。

答弁1 市民の皆様丁寧に説明し、普及促進に努めていく

上谷情報政策監

マイナンバーカード取得の強制はできないが、社会全体のデジタル化の推進に欠かせないものであり、セキュリティに不安をお持ちの方への説明や利用用途の拡充、各種団体単位での説明会の開催など、安全性や利便性の向上に努めながら、市民の皆様丁寧に説明し、マイナンバーカードの普及促進に努めていく。

質問2 第8回女子硬式野球西日本大会の成果と課題は

昨年に引き続いて、本年11月に第8回女子硬式野球西日本大会を、さんさいスタジアムをメイン会場に市内4球場で開催し、県内外から多くの選手や関係者が訪れ、大会を盛り上げていただいた。今大会の成果と課題を伺う。

答弁2 これまで以上に女子野球に関心を
持ってもらえるよう取り組む

中原地域振興部長

西日本各地から29チームの参加があり、スタッフの対応や運営、マルシェの開催や市民有志による出店など高評価をいただいた。また、有資格審判員を配置するなどし、大会のクオリティを上げることができた。
来年には新しいホテルがオープンすると聞いており、宿泊の課題もある程度改善するものと考ええる。



女子硬式野球西日本大会の様子
(三和総合運動公園野球場)



布野水泳プール周辺の状況



質問1
布野水泳プールの周辺整備を

合併までは、旧布野村がプールの管理や周辺の除草作業など維持管理されていたが、合併後、駐車場以外は除草をされず、布野川からのイノシシの侵入やセイタカアワダチソウなどの外来雑草が茂り、プール周辺の環境が悪化している。対応をどのように考えるのか。

答弁1
利用に支障がないよう対応している

才田布野支所長
これからもプールの利用期間中は、駐車場の利用に支障がないよう、年2回の除草を行っていききたい。イノシシの侵入については、他の地域でも被害の届けや侵入事例を伺っている。鳥獣対策は、布野水泳プール周辺に限らず、布野町全体の課題として捉えている。まずは支所へご相談いただきたい。

質問2
「管理者不明橋」の対応は

全国的に老朽化や災害による補修や点検されないまま放置されている橋が問題になっている。本市が管理する河川の「管理者不明橋」についての調査は実施しているのか。橋を架ける場合、自治体の許可が必要で、維持管理は設置者に義務付けられているが本市の現状は。

答弁2
県や他市町を参考にし、検討すべきと考える

秋山建設部長
本市でも調査を実施する必要がある。生じた場合は、県や他市町の調査実施状況を参考にし、本市に合った調査手法等を検討する必要があると考える。老朽化など、危険な橋が判明した場合には、個別に対応する必要があると考える。



質問1
農家と働き手をつなぐアプリの取組は

令和3年12月議会で質問をした際に、市長は関係機関と連携しながら研究を進めていきたいと答えられている。その後一年が経過し、どのような取組をされているのか、現状と今後の取組を伺う。

答弁1
計画的に進めている

中廣産業振興部長
担い手へのアンケート結果を踏まえ、短期雇用に対するアプリの活用等について、J.A・県・市で組織する担い手支援推進チームにおいて協議・検討を行い、今年10月にアプリ開発業者による説明を受けた。1月頃には担い手に対し、アプリに係る説明会を行うよう予定している。

質問2
「協働のまちづくり支援事業」の取組内容は

この事業は、令和5年度から7年度の3カ年計画で予算は毎年300万円の事業である。事業内容について、市民の皆さんにどのようにして周知されるのか。また、事業内容を理解してもらうための研修会や勉強会を考えるのか伺う。

答弁2
いかに持続可能な取組にしていくかが重要であると考える

中原地域振興部長
本事業の周知については、ホームページやSNS、広報紙等で行っていききたい。現在のところ、研修会の開催については考えていないが、要望があった場合は、個別に丁寧に対応したい。また、協同労働など新たな仕組みづくりについて検討されている地域や団体があれば、直接出向いて説明したいと考える。



地域での協働（除草作業）

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。



伊藤 芳則
日本共産党

質問1 学校給食費無償化に取り組むべきではないか

憲法26条は、「義務教育は、これを無償にする」としている。学校給食は教育の一環として、多くの自治体で給食費無償化が実施されている。今こそ無償にすることが求められている時ではないだろうか。給食費を無償化にする考えはないか。



学校給食

答弁1 引き続き保護者の皆様にご協力を
お願いしたい

甲斐教育次長
学校給食法では、学校給食の実施に必要な施設整備費や修繕費、学校給食に従事する職員の人件費などの

運営に関する経費は、学校の設置者である市が負担するものとし、それ以外の経費については保護者の負担とされている。支援が必要な世帯へは給食費の支援を行っている。
今後とも将来にわたって子どもたちに安全・安心な学校給食を提供できるように、設備整備や管理運営を行い、学校給食の充実を図っていききたいと考える。

質問2 補聴器購入への助成が必要ではないか

認知機能の低下を予防するために、補聴器がうつ病や認知障害を抑制されている。高齢者支援の一つとして認知症予防のためにも、難聴者の調査を行い、補聴器購入への助成が必要ではないか。

答弁2 補助制度の創設については予定していない

立花福祉保健部長
聴力の低下により、人や社会とのコミュニケーションに支障をきたし、孤立感を感じられるという課題があることは認識をしている。聞こえが難しい方については、その要因が加齢によるものや疾病によるものなど様々であり、症状や聞こえの程度が異なっているとされる。現在のところ、状況調査や、補聴器購入費の補助制度の創設については予定していない。



藤井 憲一郎
ともえ

質問1 旧三良坂小学校の有効活用を

旧三良坂小学校体育館で不用品販売会が行われた。市民への周知も充分ではない中でも一定数の来場者があった。普段から各施設にある不用品を運び込み、継続的、定期的に販売会を開催することにより「聖地（拠点）」と位置づけられるとは考えられないか。



販売会場となった旧三良坂小学校体育館

答弁1 維持管理上の課題がある

細美総務部長
今回は、もともと不用品を保管していた旧三良坂小学校を会場としたが、販売会専用会場として継続的に利用するには維持管理などの課題もあり、今後、解体方針としているこの施設よりも、他の施設の利活用で対応していきたいと考える。

質問2 社会福祉協議会の体制整備の
ねらいは

地域包括支援センターを社会福祉協議会に統合させる意図はどこにあるのか伺う。

答弁2 市民の利便性とサービスの向上が
図られると考える

立花福祉保健部長
今後は地域福祉活動、地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現に向けた取組がより一層重要となってくる。地域包括支援センターが取り組む地域包括ケアシステムの推進と、社会福祉協議会がめざしている地域共生社会の実現に向けて、重複する業務を解消し、それぞれの特徴を活かすことにより、地域福祉の推進を充実しているものと考えている。また、相談窓口の一本化や情報の一元化を実施することで、市民の利便性とサービスの向上が図られると考える。



侍ジャパン（マドンナ）代表合宿



質問1 女子野球タウンの盛り上がりはどう捉えているのか

マドンナジャパン合宿・西日本大会と女子野球タウンとして着実に全国的には認知度を上げてきていているとは思いますが、市内は盛り上がりには欠けているように見える。情報発信の仕方やクラブチーム編成に向けた積極的な動きが必要ではないか。

答弁1 市民の皆様に見る機会や触れ合う機会をつくってきた

中原地域振興部長
チームの発足については、他の自治体に拠点を持つチームの設立の取組などを参考に、研究している状況である。今年度は年間を通して、ルビーリーグや侍ジャパン女子代表候補強化合宿、西日本大会開催と、市民の皆様に見る機会、触れ合う機会をつくってきた。

質問2 コロナ禍で弱体化した市内業者への支援策は

持続化給付金等の支援策も無くなり、円安、燃料費・仕入原価の高騰等によりコロナ禍前の状況に戻る事なく年末、年度末を迎えようとしている。商工会議所・商工会と協議して、地元業者の事業継続に独自の支援策の考えはあるのか伺う。

答弁2 今後の政策、市の事業を考えていかなくはないか

中廣産業振興部長
現在も市独自の予算でみよし産業応援事業など、各種支援事業を展開しているが、コロナの影響で事業縮小してきた中で、事業の継続、第三者も含めた後継者への継承など、今後の政策、市の事業を考えていかなくはないかと思っている。



質問1 消防本部・三次消防署庁舎の移転建設に関する本市の考えは

十日市町の広島県林業技術センター三次高平施設に移転すると説明があった。高平施設を適地とした理由は何か。候補地は「到着時間が遅くなるリスク」「浸水など災害による機能停止のリスク」双方を勘案する必要があるかと考えるが、どのように評価検証しているのか。



老朽化が進む消防本部・三次消防署庁舎

答弁1 災害時に消防機能を喪失させないことを前提としている

山田危機管理監
市・消防本部では、災害時に消防機能を喪失させないことを前提に移転計画を進めている。その中で必要な対策を検討し、到着時間への影響を最小限にとどめたいと考える。

福岡市長

三次市が適地とする高平施設については、災害指定区域外の安全な土地であり、消防機能を受け入れるに十分な広さを有している。また、現在地から最も近隣の土地であると考えており、この土地が移転先として適地であるということについて調査研究を進めていきたいと思う。

質問2 公式LINEの双方向機能を活用した取組の拡充を

本市公式LINEが利用している「スマホ市役所」に学校や保育所など子育て世代が使う手続きを機能追加することで登録者数も増えると考えている。DXを推進している本市としては、積極的に各部署での手続きに導入していくことも必要ではないか。

答弁2 様々な分野でデジタル技術の活用を推進していく

上谷情報政策監
日常的にLINEを利用されている世代に向け、公式LINEを活用したサービスを拡充することは有効と考える。本市が取り組むDXの目的は、市民の皆様の暮らしが便利で豊かになることである。市民メリットと運用におけるコストや課題などを踏まえ、各部署とも協力して、今後も様々な分野でデジタル技術の活用を推進していく。



動画

ふじおかかずひろ
藤岡 一弘
明日への風

質問1
24時間使用可能なAEDを増やすべきではないか

市が管理するAEDのうち24時間使用可能なAEDは2台である。市民の緊急時の命を守るため、24時間使用可能なAEDを増加させる取組を推進すべきと考えるが、所見を問う。

答弁1
適切なAEDの設置及び管理等も踏まえて研究していきたいと考える

立花福祉保健部長
AEDは生命に関わる機器であることから、適切に設置及び管理をする必要がある。特に屋外に設置する場合は、温度や湿度など、適切な環境で設置する必要があるほか、盗難やいたずら防止の対応も必要となってくる。他の自治体の取組状況なども



市役所に設置されているAED（自動体外式除細動器）

参考にし、適切なAEDの設置及び管理等も踏まえて研究していきたいと考える。

質問2
次期の農業生産支援や農業振興をどのように考えているか

農業生産者の生産意欲を維持することを目的に、コロナ禍や農業資材高騰を背景とした厳しい農産物生産の状況に対して、水田生産継続支援事業の継続など、支援や農業振興にどのように取り組むのか問う。

答弁2
国・県の動向を注視しながら、検討していきたいと考える

中廣産業振興部長
農業振興については、需要に応じた主食用水稲の生産、アスパラガスやブドウ等の振興作物の生産拡大、担い手の育成・確保など、農業振興プランを基本に関係機関と連携し、取組を進めているところであり、各事業の推進に対する市独自の支援事業を継続していきたいと考える。現在の社会経済情勢を踏まえた次期作の生産に向けた支援策については、国・県の肥料や資材費への支援策の動向を注視しながら、検討していきたいと考える。



動画

すずきみゆき
鈴木深由希
真正会

質問1
まちづくりの未来に希望がもてるのか

「三次市まち・ゆめ基本条例」は最高規範で、市と議会と市民の3者がまちづくりの主体である。条例が市民に浸透していない、3者が共通認識を持っていないことは問題で、住民自治組織と行政の意識にかい離がある要因でもある。制定から16年、社会情勢を照らして基本条例の抜本的な改正の考えはあるか。

答弁1
引き続き検証を踏まえて対応していく

中原地域振興部長
三次市まち・ゆめ基本条例は、4年を超えない期間ごとに検討及び見直しを行うため、直近では令和3年度に委員会を設置し、検証を行った。その中で、現時点での見直しは必要ないとの結論を得ており、市としては改正の必要はないと考える。引き続き検証を踏まえて、市民に分かりやすい普及・啓発活動に取り組んでいかなければならないと考える。

質問2
社会全体、みんなのための「福祉」の具体策は

障害者に関わる法律が次々改正され、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行された。障害があっても健常者と同じタイミングで正確な情報を得られるための具体策の検討と条例制定の考えはあるのか。

答弁2
必要な事業等を適切に進めていきたい

立花福祉保健部長
障害のある方、障害のない方の両方に資するということを認識して施策を行うことや、市が発信する情報や障害者支援協議会へ参画する団体、事業者が相互に連携していく体制整備も重要であると認識している。条例の制定に関わらず、必要な事業等を適切に進めていきたいと考える。

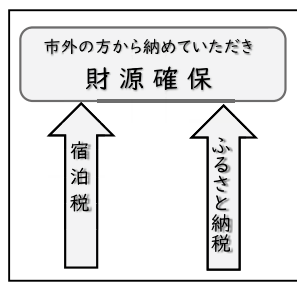
※障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーションアクション施策推進法：全ての障害者が、あらゆる分野の活動に参加するためには、情報の十分な取得利用・円滑な意思疎通が極めて重要であることから、障害者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策を総合的に推進し、共生社会の実現に資するために制定されたもの。



市長 春 光 市
横 光 春 市
真正会

質問1
新たな財源を求める方策は

11月に令和5年から7年度までの財政計画が示されたが、各年度においても基金繰入による苦しい財政運営である。新たな財源として「宿泊税」の導入と「ふるさと納税」の導入と「ふるさと納税」の導入と「ふるさと納税」の導入とを提案する。所見を伺う。



新たな財源を求める方策(案)

答弁1
税収の増につなげていきたい

中廣産業振興部長

本市の観光客の動向としては、9割以上が日帰り観光客であるため、宿泊税導入は難しいと考える。宿泊者数の増加につながるよう宿泊プランの企画等に取り組んでいくとされており、観光事業者の売り上げ増、地域経済の活

性化による税収の増につなげていきたいと考える。
自動販売機の導入については、他市町の動向を注視しているところであるが、設置場所の選定、返礼品の内容などが検討が必要であり、事務作業等が煩雑になることも懸念している。また、初期投資や維持費、運用経費などの費用の寄付額に占める割合が総務省の基準に収まるのか、慎重に検討していきたい。

質問2
副業人材を登用して新たな政策実現を

市の良い政策もアピールが足りないし、他の自治体に先んじた政策を実現しようにも、世の中の動きが早く、行政職員に考えさせるにも限界があると考えられる。専門家を週2日雇用する副業人材を登用して、生き残りをかけた政策実現を図るべきではないか。所見を伺う。

答弁2
有効な手段の一つとして認識している

細美総務部長

重点施策やプロジェクトを強力に推進していくためには、民間企業在籍の人材を副業人材として採用し、その人が有する知見、人脈を活用することは本市としても有効な手段の一つとして認識している。それぞれの事業目的に合わせて、より効果的な方法で専門的な知見を取り入れていくことに努めていきたい。



市長 木 亨
齊 木 亨
真正会

質問1
選定療養費の改定は

この10月から選定療養費の定額負担が初診5,500円から7,700円に改定された。その際、新型コロナウイルス感染症の疑いのある人の療養費の取り扱いについて、かかりつけ医の紹介状がある人の取り扱いはどうなるのか。また、コロナ感染が疑われる患者が自身の判断で市立三次中央病院を受診された時の選定療養費は請求されるのか伺う。



市立三次中央病院

答弁1
国の通知に基づいている

片岡市民病院部事務部長

陽性の判定を受けて、保健所または、かかりつけ医から市立三次中央病院を受診するよう連絡を受けた患者については、国の通知に基づき、選定療養費の対象にならないこととしている。発熱症状があるということを受診される場

合は、通常の受診となり、選定療養費の対象となるが、救急患者や公費医療負担制度の受給対象者など、選定療養費の対象外となる方については、徴収しない。
また、検査の結果コロナ陽性であった場合は徴収しないこととしている。

質問2
空き家バンクの現状は

空き家登録に二の足を踏まれる要因は何か。また、購入希望者が懸念される理由は何か伺う。
空き家バンクに登録されない課題で、空き家バンクの家財等処分費用補助金の制度が廃止されたことも一因があると思われる。この制度の復活をされないか伺う。

答弁2
登録の後押しとなる制度設計について検討していきたい

中原地域振興部長

空き家所有者実態調査によると、物置として必要、他人に貸すことに不安があるなどの回答が見られた。また、購入については、リフォーム代がかかりそうだという経済的な面や、災害面に不安を感じている方もいる。
空き家情報バンク登録の推進を図るため、補助金を交付していたが、登録につながった実績が少なく、効果が低いと判断し終了した。現在、空き家の利用相談が増えているため、登録の後押しとなる制度設計について検討していきたい。



質問1 市立中学校を1校ないし2校に統合しては

現在、市内の中学生は、暮らす地域によってクラス編成や部活動などにおいて享受する教育環境に大きな差がある。子供達が等しく三次市が与えられる最高の教育環境を享受できるのは、中学校制だ。どうしても少人数にしか対応できない生徒が通う小規模校を存続させるとしても2校制だ。

広島県と協議し、最高レベルに指導力のある先生を配置し、三次市が誇る最高の地域人材にもご協力いただいで、総合的学習、クラブ活動等も圧倒的に充実したものを等しく提供できる体制整備を目指してはどうか。

答弁1 各校区の状況に合わせて取組を進めることとしている

「三次市立小・中学校の規模及び配置の適正化について」の基本方針に沿って、これまで取り組んできた小中一貫教育を一層発展させることを前提に、各校区の状況に合わせて取組を進めることとしている。まずは、この基本方針や第2次三次市教育ビジョンに基づいて取り組む。また、市内全域でコミュニティスクールを導入することとし、保護者や地域、産業界、また学識経験者等と協働しながら、地域をフィールドとした豊かな学びを社会総がかりでのひとつくりを進めている。

(令和3年5月1日)

学校名	生徒数(人)	学 級 数		
		通常	特別支援	合計
1 三次中	139	5	3	8
2 十日市中	309	9	2	11
3 塩町中	177	6	2	8
4 川地中	32	3	0	3
5 八次中	194	6	1	7
6 甲奴中	54	3	1	4
7 君田中	40	3	1	4
8 布野中	24	3	1	4
9 作木中	21	3	1	4
10 吉舎中	67	3	1	4
11 三良坂中	58	3	1	4
12 三和中	35	3	2	5
合計	1,150	50	16	66

令和3年度 中学校生徒数及び学級数

議会のうごき

2022(令和4)年11月1日～2023(令和5)年1月31日

11月

- 4日 議会運営委員会
- 7日 教育民生常任委員会
- 10日 日彰館高校意見交換会
- 11日 議会運営委員会、教育民生常任委員会
- 21日 議会運営委員会、全員協議会
- 25日 総務常任委員会
- 28日 三次高校意見交換会
- 30日 市議会トピックス出演(総務常任委員会)

12月

- 1日 議会運営協議会
- 2日 議会運営委員会、12月定例会本会議、広報広聴常任委員会
- 5日～7日 12月定例会本会議(一般質問等)
- 6日 議会運営委員会
- 8日 常任委員会
- 9日 総務常任委員会
- 12日 教育民生常任委員会、広報広聴常任委員会
- 13日 産業建設常任委員会
- 14日 予算決算常任委員会、会派代表者会議
- 16日 議会運営委員会、12月定例会本会議、全員協議会、議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会
- 27日 市議会トピックス出演(広報広聴常任委員会)

1月

- 10日 広報広聴常任委員会
- 13日 全員協議会、会派代表者会議
- 17日 議会運営委員会、広報広聴常任委員会
- 18日～19日 広報広聴常任委員会行政視察
- 23日 令和5年第1回臨時会、議会運営委員会、広報広聴常任委員会
- 31日 総務常任委員会、市議会トピックス(正副議長)

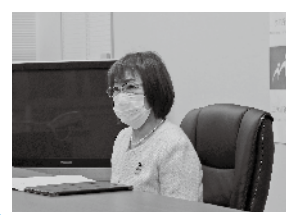
行政視察受入状況

- 11月1日 千葉県流山市議会(内水対策事業について)
- 2日 愛知県江南市議会(個別避難計画における三次市の取組について)
- 17日 佐賀県唐津市議会(議会改革の取組について・タブレット端末の導入について)
- 1月27日 兵庫県丹波篠山市議会(議会改革・高校生との意見交換会について)
- 30日 愛媛県八幡浜市議会(高校生との意見交換会について)
- 31日 岡山県赤磐市議会(小中一貫教育について)

議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会活動等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例会見を実施しました。

- 1 議会報告・懇談会の開催について
- 2 議案の調査研究について





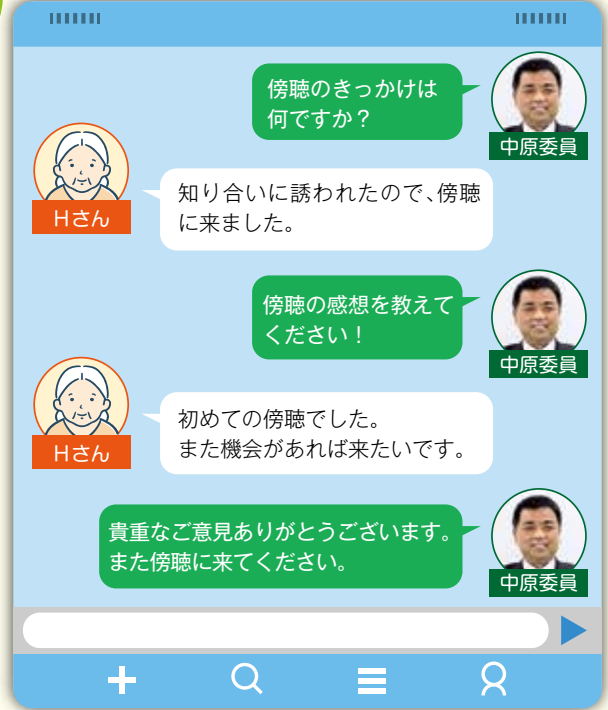
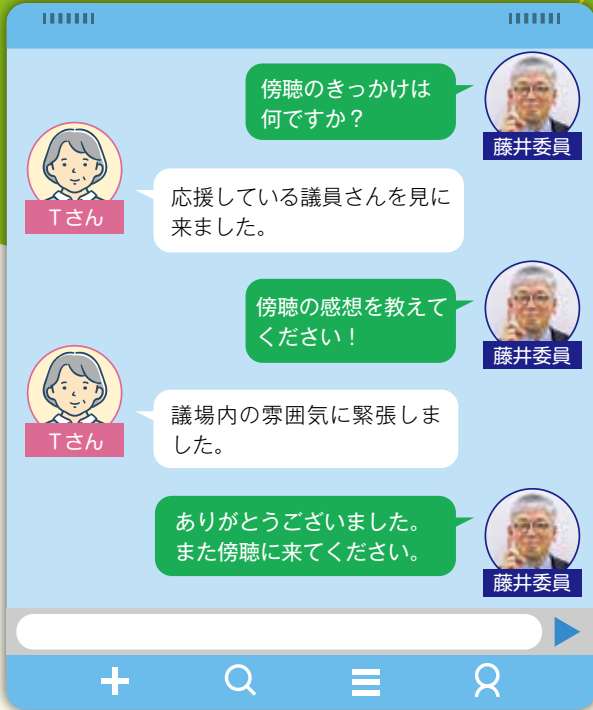
次回の定例会は **2月24日(金)** に開会する予定です。

きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

第10回

傍聴者に聞いた！
「傍聴ってどうだったのか!!」

12月定例会を傍聴に来られた方にインタビューしました。
なぜ傍聴したの？どうだった？？これを参考にみなさんも
議会を傍聴してみませんか？



インタビューと議会だよりへの掲載を快諾していただいたみなさま、ありがとうございました。
三次市議会では、傍聴者の間隔を空けるなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ
TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110
Eメールアドレス
gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

あとがき

コロナ禍の中で、2年間開催できなかった議会報告・懇談会を自治組織の皆様の協力を得て、昨年11月に開催することができました。ありがとうございました。

わたしたちは、議会基本条例に議会の基本理念、議員の責務及び活動を定めています。議会報告・懇談会はその中でも重要な議会活動の一つです。「議会だより」「ケーブルテレビ」「ホームページ」等で情報の公開に努め議会への関心を高めていただけるように取り組んではいますが、やはり対面で直接意見交換できる場が市民の皆さんの思いや熱が伝わります。大切にしたい取組です。

懇談会後のアンケートには、議会活動についての厳しい意見もたくさんありましたが、「議員のみなさんに親近感を持たせた」「議会や市政へのイメージも変わる」とのご意見もありました。わたしたちがより市民のみなさんに「近い存在」となり、その声を市政へ反映させていくことの重要性和、みなさんから励ましをいただいたものと捉え、今後の議会活動に生かしていきます。

(新田真一)

注目
スポット

仁王門
(畠敷町)

岩屋寺の聖域に入る門で、足利尊氏によって建立されたが、戦火に焼かれたため、1539年(天文8年)、三吉致高・隆亮によって再建された。阿形・吡形の二体の仁王像は、1684年(天和4年)、三次藩3代藩主浅野長照が寄進したものだ。



吡形(うんぎょう) 阿形(あぎょう)

〈わがまちやつぎ歴史探訪〉より抜粋

(山田真一郎)